

## 当社提案により複数荷主による“31 フィート鉄道コンテナ”の共同利用が実現

当社の顧客であるP & G滋賀工場様が製造販売する化粧品の製品容器の調達物流について、11月4日から輸送手段をトラックから鉄道に転換し(=モーダルシフト)、物流におけるCO<sub>2</sub>排出量を削減する取組みをスタートさせました。

この取組みは、従来、当社が化粧品容器の多くを埼玉県から滋賀県野洲市のP & G滋賀工場様までトラック輸送していたものを、東京一京都間は31フィート鉄道コンテナ輸送に切り替えました。さらに当社の別顧客の復路輸送を活用する「31フィート鉄道コンテナの共同利用」の提案が実現したものです。

この提案の実現により、P & G滋賀工場様の調達物流の効率が大きく改善し、年間のCO<sub>2</sub>排出量のうち約20%となる135トンが削減され、さらに輸送コストを抑えることができる見込みです。

当社はP & G滋賀工場様、協力業者様と“NPG協議会”を構成し、国土交通省が主導する「平成26年度モーダルシフト等推進事業」の認定を受けました。今回は特に物流量が多く輸送頻度の高い調達先を対象としましたが、今後、当社とP & G滋賀工場様は複数の調達先を糾合して、さらに効率をあげられるような取組みを実施する予定です。

当社はこれからも「理想物流へのエスコート」を合言葉に、コストとサプライチェーンの最適化に積極的に貢献し続けます。

### モーダルシフトとは—

輸送手段を、自動車や航空機から、輸送量の大きい鉄道や船に変えること。CO<sub>2</sub>排出量削減、省エネルギーなどの環境保全効果や、交通渋滞の緩和などが効果として期待されます。

